

冬季企画展 Juhachi-Shinwa Art Gallery Winter Exhibition

紙と表現

2024
12/13 (金)
↓
2025
3/8 (土)



北村 綱義《スペインの夜》

十八親和アートギャラリーでは、12月13日(金)から季節展示室と絵画展示室1に於いて冬季企画「紙と表現」を開催しております。私たちの暮らしに身近な素材である紙は、絵画をはじめとする美術作品でも古くから親しまれてきた素材のひとつです。本展では、棟方志功の肉筆画や山下清の貼り絵のほか、郷土ゆかりの旭達文、田川憲の版画、北村綱義のパステル画など、紙に表現された8作品をご紹介します。

また、陶磁器展示室2では、陶磁器小企画「煌めく釉薬」を2025年3月1日(土)まで開催しているほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

【開館時間】10:00~16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

北村 綱義(きたむらつなよし)・・・1909～2006。長崎県佐世保市生まれ。太平洋美術学校に学ぶ。1936年文展監査展入選、37年第1回新文展入選(以後、38年、42年入選)。58年から約2年渡欧してパリ郊外にアトリエを構え、色彩研究を行う。国画会を中心に活躍し、油彩画、パステル画による色彩豊かな作風で人気を博す。長崎県展実行委員長、審査員を歴任。地域文化功労者文部大臣表彰など受賞歴多数。